

戦略に掲げる88の実施プロジェクトの進捗状況一覧表

資料6

分野1 「既存公共交通」の取組

施策名	実施内容			進捗状況 ○：推進中 △：企画構想段階
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降の予定	
(1) 公共交通利便性向上施策				
ア バスの利便性向上施策				
(ア) バス系統再編				
1 ○ バス事業者間で競合する路線・系統における、路線の再編やダイヤ調整	<ul style="list-style-type: none"> 桂坂・高雄・高度集積地区などにおいて実施。(交通局) 平成22年3月に、洛西地域における各バス事業者間のダイヤを調整することにより、鉄道との乗継利便性を向上。(交通局、京阪京都交通、ヤサカバス、阪急バス) 京都駅を起点とした循環系統の新設。(JRバス)(H21) 	<ul style="list-style-type: none"> 阪急嵐山駅を拠点とした路線の設定。(京都バス) 平成23年3月26日から、経路が重複する南1号系統、南2号系統のダイヤ調整による等間隔運行の実施。(交通局) 阪神高速道路を活用しての京都駅と山科地域をダイレクトで結ぶ「山科急行線」の新設(京阪バス) 平成23年3月26日から、左京区総合庁舎移設に伴い、既存系統を移設先の庁舎へ接続。(交通局、京都バス) 	<ul style="list-style-type: none"> ターミナル活用等による運行形態の検討(往復同経路設定等)。(京阪バス) 今後も引き続き、系統が事業者間で重複・競合している路線・系統では、利用実態に見合う輸送力の調整およびダイヤ調整を検討。(京都バス、交通局、阪急バス) H23年5月に開庁する新左京区総合庁舎へ接続する市バス65号と京都バス55号のダイヤ調整を行い、利便性を向上。(交通局、京都バス) 	○
2 ○ 定時性の低い長大系統や鉄道とバスが並行する区間における、系統の再編	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄開業に合わせ、長大系統や鉄道と重なる路線の調整も含めた路線再編を実施。(交通局) 平成20年1月、地下鉄東西線大秦天神川駅の開業に合わせ、主に右京区内を運行する系統を中心に、路線再編を実施。(交通局) 	<ul style="list-style-type: none"> 阪急嵐山駅前広場整備に併せて阪急嵐山駅を拠点とした路線の設定。(京都バス) 	<ul style="list-style-type: none"> 西部地域における鉄道網の整備進捗に合わせた運行形態の検討。(京都バス) 需要と供給のバランスを精査し、利用実態に見合った運行回数の増減調整を行う。(京都バス) 系統区間の移動需要に応じて鉄道接続駅等で系統を分割する。(京都バス) 地下鉄線と重複している区間の運行を取り止めを検討。(京都バス) 	○
3 ○ 観光シーズンにおける、臨時バスの運行(バスと鉄道の連携輸送の強化等)	<ul style="list-style-type: none"> 京都駅を起点とし、観光シーズンにおけるシャトルバス・洛バス・急行バス等の運行し、旅客動向を踏まえた増強を適宜実施。(5月の大型連休期間や11月の紅葉シーズンを中心に、金閣寺・銀閣寺エクスプレス、東山シャトル、ライトアップ号、洛楽東山ラインその他臨時バスを運行。)(交通局) 観光期における臨時便の充実(京都駅～高雄・梅ノ尾)。(JRバス) 阪急嵐山駅を起点の「嵐山・嵯峨野周遊シャトルバス」運行。(京都バス) 臨時シャトルバスを運行(紅葉期11月下旬の土休日):清水五条駅⇄市営清水坂観光駐車場。(京阪電鉄、京阪バス) 秋季に限定した系統の設定(阪急嵐山駅～西山高雄)、冬季期間の土休日に運行(貴船線)。(京都バス) 	<ul style="list-style-type: none"> 京都駅を起点とし、観光シーズンにおけるシャトルバス・洛バス・急行バス等の運行し、旅客動向を踏まえた増強を適宜実施。(5月の大型連休期間や11月の紅葉シーズンを中心に、金閣寺・銀閣寺エクスプレス、東山シャトル、ライトアップ号、洛楽東山ラインその他臨時バスを運行。)(交通局) 	<ul style="list-style-type: none"> 京都駅を起点とし、観光シーズンにおけるシャトルバス・洛バス・急行バス等を運行し、旅客動向を踏まえた増強を適宜実施。(5月の大型連休期間や11月の紅葉シーズンを中心に、金閣寺・銀閣寺エクスプレス、東山シャトル、ライトアップ号、洛楽東山ラインその他臨時バスを運行。)(交通局) 観光期に鉄道結節の周遊シャトルバスや臨時直行系統(京都駅～四条河原町～大原・地下鉄国際会館駅～大原)を設定。(京都バス) 夏期の運行時間帯を拡大(貴船線)。(京都バス) 	○
(イ) バスダイヤ改善				
4 ○ 基幹路線となるバス路線(河原町通、東大路通など)のパターンダイヤ化(3分～5分間隔)及び他系統との接続向上	<ul style="list-style-type: none"> 主要路線については、特に昼間帯の設定を分かりやすく、覚えやすくするためパターンダイヤの設定。(京都バス) 一部の系統はパターン化を実施。(京阪バス) 昼間時間帯の運行を中心に、お客様の利用しやすいダイヤを目指し、系統ごとにパターンダイヤ化を推進。(交通局) 平成22年3月から河原町通(今出川～京都駅)の平日昼間時間帯において、3～4分の等間隔運行を実施。(交通局) 	<ul style="list-style-type: none"> 堀川通を運行する9号系統において、平日朝ラッシュ時間帯の運行間隔を5～7分間隔とし、最大待ち時間を短縮(交通局)(H22) 	<ul style="list-style-type: none"> 運行ダイヤのパターン化。(京都バス) 	○
5 ○ 運行本数が減少する夜間(21時以降)のバス路線のパターンダイヤ化(鉄道や地下鉄ダイヤと整合)	<ul style="list-style-type: none"> 深夜時間帯では地下鉄到着時間を考慮し、接続できるようダイヤ設定。(京都バス) 夜間等は利用状況に応じた設定。(京阪バス) 平成21年3月28日から、繁華街や鉄道駅から周辺部への金曜・土曜の夜間における輸送力の増強を実施。(交通局) 平成22年3月、地下鉄烏丸線の最終電車時刻繰り下げに合わせて、国際会館駅発岩倉方面ゆきの最終バス時刻を、24時08分発から、24時14分発に変更。その他の国際会館駅発岩倉方面ゆき系統については、21時以降について、地下鉄到着に接続したダイヤに変更。(京都バス) 平成22年3月から、河原町通(河原町三条→京都駅)の夜間時間帯において、市バスとかわらまち・よるバスをあわせて5分間隔で運行。(交通局) 	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年3月26日から、堀川通を運行する9号系統について、夜間時間帯において大阪方面からのJR新快速に合わせた運行時刻に設定。(交通局) 37号系統 北大路バスターミナル23:33発西賀茂車庫前ゆきを増発することにより、現行より1本遅い地下鉄からの乗継が可能に。(交通局) 206号系統 北大路バスターミナルから高野方面への最終バスを繰り下げることに、現行より1本遅い地下鉄からの乗継が可能に。(交通局) 南2号系統 現行の最終バスより40分遅い竹田駅西口22:20発菱川ゆきを増発(交通局) 205号系統 西大路通の最終バスを繰り下げることに、西大路四条で現行よりも1本遅い阪急電車からの乗継が可能に。(交通局) 	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道と結節機能を高める必要がある主要停留所においては、乗り継ぎ時間帯等を考慮したダイヤ設定を行う。(京都バス) 鉄道のダイヤ改正時には、電車⇄バスの乗換え利便性を維持するためのバスダイヤの調整を行う。(阪急バス) 	○

施策名	実施内容			進捗状況 ○：推進中 △：企画構想段階
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降の予定	
6 ○ 地下鉄のダイヤと合わせた、バス路線のバラストムテーブル化(利用が低迷しているバス系統の増収増客策)	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道駅とスムーズに接続できるようなバラストムテーブル化。(ヤサカバス) ・主要な系統で既実施。(京都バス) ・昼間時間帯の運行を中心に、お客様の利用しやすいダイヤを目指し、系統ごとにパターンダイヤ化を推進。(交通局) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年3月26日から、37号系統 北大路バスターミナル23:33発西賀茂車庫前ゆきを増発することにより、現行より1本遅い地下鉄からの乗継が可能に。(交通局) ・平成23年3月26日から、北大路バスターミナルから高野方面への最終バスを繰り下げることで、現行より1本遅い地下鉄からの乗継が可能に。(交通局) ・平成23年3月26日から、南2号系統 現行の最終バスより40分遅い竹田駅西口22:20発菱川ゆきを増発。(交通局) 		○
7 ○ 【洛西地域におけるバス利便性向上】 洛西地域に近接する鉄道事業者とも連携しつつ、公共交通の利便性向上 洛西地域を運行する4事業者のバス系統(経路)・系統番号・ダイヤ・バス乗り場の一元的な見直し及び料金収受方法の改善等	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者間で重複系統を見直し、等間隔ダイヤの調整。(交通局、京阪京都交通、阪急バス、ヤサカバス) ・鉄道との接続利便向上にウエイトを置いたダイヤ設定の検討。(交通局、京阪京都交通、阪急バス、ヤサカバス) ・平成22年3月に、洛西地域における各バス事業者間のダイヤを調整することにより、鉄道との乗継利便性を向上。(交通局、京阪京都交通、ヤサカバス、阪急バス) ・境谷大橋バス停の複数の事業者の標柱の統一化(交通局、京阪京都交通、阪急バス、ヤサカバス) ・鉄道との接続利便向上にウエイトを置いたダイヤ設定の検討。<洛西口駅>(交通局、阪急バス、ヤサカバス) 	<ul style="list-style-type: none"> ・洛西地域バスお得クーポンの創設(交通局、京阪京都交通、阪急バス、ヤサカバス) 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス行き先表示統一の検討 ・西京区・洛西支所のイベントと連携した利用促進活動 	○
イ バス走行環境の改善施策				
(ア) バス走行空間改善				
8 ○ バス専用又は優先レーンのカラー舗装化	<ul style="list-style-type: none"> ・バスペイの路面表示の改善を実施。(H19) 			△
9 ○ 高頻度にバスが走行されている区間については、国等の支援も得て、高度道路交通システム(ITS)の展開や新交通管理システム(UTMS)を推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ITS技術を活用したPTPS(公共車両優先システム)について、既に運用されている烏丸北大路から西大路四条経由九条車庫前間に加えて、平成22年3月29日に河原町通(北大路BT~京都市役所前)の拡大区間の運用が開始された。(交通局) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年5月に、京都府警察と合同で、河原町通の拡大区間の効果測定を実施し、平均1分46秒の時間短縮効果があった。(交通局) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市バスの走行環境改善について、京都府警察と連携した取組を実施していく中で、PTPSの拡大についても要望していく。(交通局) 	○
10 ○ 違法駐車に関して、市民、商工業者、物流業者などに対する啓発活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・バス専用通行帯における駐車違反防止のための啓発活動等を実施。(京都バス) ・平成19年2月から、毎月第3金曜日に京都府警との連携による啓発活動を実施。(交通局) ・平成21年9月に、河原町通にて、京都府警、タクシー業界、バス事業者、行政との連携による啓発活動を実施。(交通局、京阪バス、京都バス) ・地元商店街の協力により、四条通の社会実験を通して、物流業者に対し、駐停車マナー向上の実施。 ・タクシー駐停車マナー向上の実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年2月から、毎月第3金曜日に京都府警との連携による啓発活動を実施。(交通局) ・バス車両等の媒体を活用して啓発。(京阪バス) ・京都府警およびバス事業者合同でバス走行環境改善・バス専用レーン啓発活動を実施。(京都バス) 	○
11 ○ 観光シーズンの特定日等に、観光地交通対策の一環として、主要道路の違法駐車集中指導を実施(バスレーンに誘導員を配置し、侵入車両を排除)	<ul style="list-style-type: none"> ・特に東山通など恒常的に渋滞の発生している路線では、バス停留所において職員を配置し、お客様の案内を兼ねて実施。(交通局) 		<ul style="list-style-type: none"> ・観光シーズンの特定日に主要停留所において、運行状況の把握及びお客様の案内を兼ねて違法駐車集中指導を実施。(京都バス) 	○
12 ○ バス専用レーンへの侵入やバス発車妨害は道路交通法違反であることをマスメディア等を通じて啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・バス専用レーン区間などを記したリーフレットを作成しており、運転免許試験場、市内の警察署窓口、自動車教習所、専用レーンの啓発活動時に配布。(交通局) 		<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関への協力を要請しつつ、啓発活動の展開に努める。(交通局) 	○
13 ○ 警察の協力の下、違法駐車等防止指導員や地域ボランティアによる駐停車違反者に対する指導の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性的に違法駐車により走行に支障が生じている箇所について、京都府警に協力を求め、取締りや指導の強化。(交通局) ・サービス事業者による駐停車違反取締り。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年3月14日から、市バス20台でドライブレコーダー運用開始。(交通局) 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国交通安全運動期間中等に主要停留所において拠点調査を実施するとともに駐車違反防止等啓発活動を実施。(京都バス) ・一般運転者に対する安全運転・マナーの指導。(京都バス) ・今後も京都府警に協力をお願いしていくとともに、ドライブレコーダーにより収集したデータを市バス走行環境改善の取組に活用していく。(交通局) 	○

施策名	実施内容			進捗状況 ○：推進中 △：企画構想段階
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降の予定	
(イ)バス停環境改善				
14 ○ 同一箇所重複するバス停の集約化(洛西地域、四条河原町周辺等)	<ul style="list-style-type: none"> ・地先の問題など課題が多いが、道路管理者の歩道の整備などを見極めながら、集約化を適宜実施。(交通局) ・平成21年6月に、祇園東行停留所を北行へ統合。(交通局) ・平成21年9月に、飛鳥井町北行停留所を統合。(交通局) ・平成22年3月に、修学院道西行停留所を北行へ統合。(交通局) ・平成22年3月に、境谷大橋バス停を統合(交通局、京阪京都交通、阪急バス、ヤサカバス) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年3月に、十条駅前停留所、大石橋停留所、四条葛野大路停留所、菱川停留所、九条大宮停留所、河原町三条停留所の分設停留所の見直しによる利便性向上。(交通局) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者ごとにバス停位置が違うので、利用者の視点に立ち、バス停の集約化を図る。(京都バス) ・円滑なバース運営を前提としたバス停の集約化。(京阪バス) ・地先の問題など課題が多く、道路管理者の歩道の整備などを見極めながら、集約化を図る。(交通局) ・集約が可能なバス停については、関係事業者と調整を図っていきたい。(JRバス) 	○
15 ○ 主要バス停におけるシェルターの整備(シェルター内部に、路線図・時刻表および接続情報等をわかりやすく表示)	<ul style="list-style-type: none"> ・標識柱の変更や時刻表示の大型化、路線図の掲出を実施。(京阪バス) ・平成21年度に、広告付き上屋10基を設置。(交通局) 	<ul style="list-style-type: none"> ・広告付き上屋を19箇所設置(21箇所準備中)。(交通局) 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗継負担の軽減も視野に入れ、やむなく分設している停留所の案内など分かりやすい案内表示を行う。(交通局) ・乗り継ぎ情報や目的地までの所要時間等まで他のサービス産業並みにグレードアップする。(京都バス) ・広告付き上屋の取組を実施。(京阪バス) 	○
16 ○ バス停近くの商業施設や公共施設等の施設内におけるバスロケーションシステム案内板の設置箇所の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでから協力を得ることができる商業施設や公共施設等の施設内において、可能な限りバスロケーションシステム案内を設置。(施設内設置:6基)(交通局) ・バスロケーション設置が困難な場合においても時刻表やバス停位置の案内図などを掲出。(交通局) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度は、バス停にバスロケーションシステムを5箇所設置。(交通局) 		○
17 ○ 観光地における路線バスターミナルの整備		<ul style="list-style-type: none"> ・嵐山地域に方面別のバス乗り場を集約するために拠点となるバスターミナルの整備。(京都バス) 		○
18 ○ バス待ち環境等におけるバス停のデザインの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年3月、複数の事業者でシェルター整備・路線図・時刻表の統一について「境谷大橋」で実施。(交通局、京阪京都交通、阪急バス、ヤサカバス) ・平成21年度に、広告付き上屋を10基設置。(交通局) 	<ul style="list-style-type: none"> ・広告付き上屋を19箇所設置。(21箇所準備中)(交通局) ・京都市役所前停留所、四条烏丸停留所では、民間バスと併せて、時刻表を掲出。(交通局、京都バス) 	<ul style="list-style-type: none"> ・広告付き上屋の活用など民間活力も含め、デザイン向上を図る。(交通局) ・広告付き上屋を50箇所設置予定。(交通局) 	○
ウ 鉄道の利便性向上施策				
(ア)鉄道事業者間の連携				
19 ○ 鉄道結節点における乗継相手の情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・東福寺駅における多客対応や、円町駅でのバス乗換案内など取組を推進中。(JR西日本) ・烏丸線と近鉄京都線との相互直通運転やホームtoホームでスムーズに乗り換える体制整備。(交通局、近鉄) ・京阪四条・阪急河原町駅において乗換時刻表を整備。(京阪電鉄) ・丹波橋駅・出町柳駅において相互の列車案内を行い、乗換案内の充実。(叡山電鉄、京阪電鉄、近鉄) ・乗継駅への誘導サインや乗り場案内図の掲出などを実施。(JR西日本、近鉄、阪急電鉄、京阪電鉄) ・HPでの相互リンクの実施。(JR西日本) ・宣伝物において、鉄道を積極的に活用した乗換案内の表記を徹底し、事前に乗換先の事業者の情報を入手していただける環境を整備。(JR西日本) ・三条駅、祇園四条駅において乗換時刻表を掲載。(京阪電鉄) ・阪急河原町駅・祇園四条駅において乗換時刻表の相互掲出。(阪急電鉄) ・平成20年11月に、JR京都駅前における地下鉄案内サインの充実。(交通局) ・平成21年1月に、六地藏駅(地下鉄・京阪・JR)における乗換案内サインの新設。(交通局・京阪電鉄) ・JRと連携し円町駅でのバス乗換案内など取組を推進中。(JRバス) 	<ul style="list-style-type: none"> ・阪急桂駅・JR桂川駅において、バス路線・バスのりば・乗継時刻表を掲載(交通局、阪急バス、京阪京都交通、ヤサカバス、阪急電鉄、JR西日本) 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPでの乗継相手の事業者へのリンクや、宣伝物による鉄道を活用した乗換案内の徹底、必要に応じた駅構内における誘導サインの整備など。(JR西日本) ・時刻表の相互掲出の実施に向け検討中。(京福電鉄) 	○

施策名	実施内容			進捗状況 ○：推進中 △：企画構想段階
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降の予定	
20 ○ 鉄道駅間における乗継施設の整備・改善	<ul style="list-style-type: none"> 乗換案内サインの改善やバス停の案内等、乗継駅周辺の駅案内表示物の整備。(JR西日本、京阪電鉄) HP上に掲載する構内図において乗換案内を掲載。(JR西日本) 東福寺駅でホーム拡幅、販売機器の整備等のハード改良や駅社員の増強。(JR西日本) 京都駅ターミナル整備(改札口を2階中央口に統合し、階段・エスカレーターを構外に設置することで、お客様に分かりやすく便利な駅とした。)(近鉄) 		<ul style="list-style-type: none"> 京都駅ターミナル整備(平成24年春頃に、現在の3線から1線増設して4線化することにより、列車の折り返し時間の延長などを行い、お客様のホームでの待ち時間を減らすなどのサービス向上を図る予定)(近鉄) 	○
(イ)地下鉄の利便性向上				
21 ○ 東西線沿線での潜在需要の発掘と、更なる利用促進	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりや市民生活において市民の財産である地下鉄の利用促進を図るため、地下鉄東西線の旅客動向調査を実施。(交通局) 	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄小野駅、柳辻駅、東野駅において、京阪バスの時刻表を掲出。(交通局、京阪バス) 	<ul style="list-style-type: none"> 旅客動向調査の結果を、地下鉄駅周辺施設と連携した事業の創出などの中長期的な増客対策に活用。(交通局) 	○
22 ○ 烏丸御池駅での東西線と烏丸線の乗継待ち時間の短縮化	<ul style="list-style-type: none"> 乗継待ち時間の短縮化については、平成12年に東西線のダイヤを変更し昼間時間帯の乗継待ち時間の短縮を実施。(交通局)(H12) 夜間ダイヤについては、平成20年1月の延伸にあわせ、東西線は23時過ぎまで12分間隔とした。(交通局)(H19) 平成22年3月19日実施のダイヤ改正において、烏丸線・東西線との乗継時間を約5分間隔に均等化するとともに、烏丸御池駅で烏丸線・東西線の全方向(4方向)の最終電車の乗り継ぎを可能とする「シンデレラクロス」を実施した。(交通局)(H21) 			○
23 ○ 夜間ダイヤの改善とパターンダイヤ化	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年3月19日実施のダイヤ改正において、烏丸線・東西線ともに21時台・22時台を10分間隔の等間隔運行とする等、夜間ダイヤの改善を実施した。(交通局) 			○
24 ○ 最終便は烏丸御池駅で4方向(東西南北)どの方向にも接続	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年3月19日実施のダイヤ改正において、烏丸御池駅で烏丸線・東西線の全方向(4方向)の最終電車の乗り継ぎを可能とする「シンデレラクロス」を実施した。(交通局) 			○
(ウ)鉄道ダイヤの改善				
25 ○ 鉄道の乗継利便性を考慮した鉄道ダイヤの設定	<ul style="list-style-type: none"> 叡山電鉄・京阪を乗り継いで利用するお客さまの利便性を考慮したダイヤを設定。(叡山電鉄、京阪電鉄) 神戸方面から嵐山への臨時直通列車の運行。(阪急電鉄) 烏丸線と近鉄京都線との間で相互直通運転が実施できるダイヤ設定を行っており、乗継無しで利用できる利便性向上を図っている。(近鉄、交通局) 地下鉄東西線延伸時に最終電車を延長し、地下鉄からの連絡を可能としている。(京福電鉄) 深夜時間帯、出町柳からの下り列車の特急を増発(22時帯に3本、23時帯に1本増発)。さらに宇治線と連絡する最終の特急枚方市ゆきを出町柳23時58分発で運転。(京阪電鉄) 嵐山への臨時直通列車の運行拡大。(阪急電鉄) 		<ul style="list-style-type: none"> 5月14日のダイヤ改正時に、土休日ダイヤにおいて乗換なしで大阪市中心部から河原町駅までの直通の「準急」を「天下茶屋」(大阪地下鉄堺筋線)と「河原町」間で運行を開始し、また行楽シーズンには「天下茶屋」から「嵐山」への直通特急の運行を開始する。(阪急電鉄) 	○
エ 鉄道・バスの連携施策				
(ア)乗継利便性向上				
26 ○ ダイヤの整合や運賃システムの共通化等を図り、乗継抵抗を低減	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道のダイヤ改正時に併せて、ダイヤ改正を実施。(京阪シティバス) 鉄道＝バス連絡定期券を発売。(ヤサカバス) 一部の地区のバス停に駅の電車時刻表を掲出し、駅までの所要時分も併記。(ヤサカバス) ICカードやスルッとKANSAIカードの相互利用で乗継抵抗を低減。(JR西日本、近鉄) 	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年3月に京阪バスがICカードシステムを導入。(京阪バス)(H22年度市補助:3,452千円) 	<ul style="list-style-type: none"> ICカード導入による制度面含めた乗換抵抗の軽減。(京都バス) H23年4月に嵐電にICカードシステムを導入。(京福電鉄) 	○

施策名	実施内容			進捗状況 ○：推進中 △：企画構想段階
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降の予定	
27 ○ 交通結節点での鉄道・バス間の乗換案内の充実 (四条烏丸, 四条河原町 等)	<ul style="list-style-type: none"> 市バスと接続する地下鉄駅構内に、市バスの乗り場を案内する「乗継案内板」及び「市バス接近表示機」を設置。(交通局) バス乗換案内サインについては継続的に整備を推進。(JR西日本) HPや駅から散策ecoマップ, 京都eco旅マップについても継続的に案内を実施。(JR西日本) 鉄道HPの乗換案内に、バス事業者とのリンクを追加。(JR西日本) 河原町駅～烏丸駅間地下通路の出入口サインのリニューアルを実施。(阪急電鉄) 駅構内への市バスのりば案内の掲出。(京福電鉄) 駅改札付近への主要観光地への乗換・所要時間案内図の掲出。(JR西日本, 京福電鉄) 鉄道とバスの連携のもと、駅でのポスター掲示やパンフレット等による情報発信。(JR西日本) 京都駅において、市バス・定期観光バス・高速バスへの誘導案内を行っている。(近鉄) JRと連携し円町駅でのバス乗換案内など取組を推進中。(JRバス) 桂駅西口のバス乗換案内表示を充実。(交通局) 	<ul style="list-style-type: none"> 阪急桂駅・JR桂川駅において、バス路線・バスのりば・乗継時刻表を掲載(交通局, 阪急バス, 京阪京都交通, ヤサカバス, 阪急電鉄, JR西日本) 地下鉄小野駅, 柳辻駅, 東野駅において、京阪バスの時刻表を掲出。(交通局, 京阪バス) 	<ul style="list-style-type: none"> 河原町駅における交通案内機能の充実。(阪急電鉄) 鉄道・バス間の乗換案内等、個別事業者の枠組みを意識しない内容に進化させる。(京都バス) 車内での乗換案内として、放送に加え液晶表示器による表示を実施。(京福電鉄) 	○
28 ○ 駅及び駅周辺の乗継施設の整備・改善	<ul style="list-style-type: none"> バスと結節する地下鉄全駅においてエレベーターを設置し、段差を解消した経路を確保。(交通局) 京都市内各駅でエレベーター設置等の対応を実施。(近鉄) 阪急嵐山駅前広場にバス停整備する等、乗継環境の整備を推進。(京都バス) 京都駅南口駅前広場整備計画の策定。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年3月26日に、バスとバス、バスと地下鉄との乗入利便性や分かりやすさの向上を図るとともに、顧客の乗車機会の拡大を目指して、分留停留所の位置の見直し。(交通局) 平成22年10月、嵐山駅前広場整備に併せて、京都バス乗り場を新設し、結節機能を強化(阪急電鉄) 	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄「北大路駅」への乗り継ぎ施設となる「北大路バスターミナル」の誘導案内表示などを改良。(交通局) 京都駅南口駅前広場整備に関する予備設計(H23), 都市計画決定(H24)を経て、H25年に工事着工。 東福寺駅においてJR奈良線と京阪本線乗継改札設置(H23.11予定)(京阪電鉄・JR西日本) 	○
(イ) 多様な料金施策				
29 ○ 定期券保有者に対する、家族を含めた優遇制度の充実	<ul style="list-style-type: none"> 「環境定期券制度」を実施。(京阪シティバス, 京阪バス, 京阪京都交通, 京都バス, 交通局, 阪急バス) 2way定期。(阪急バス, 阪急電鉄) 定期券保有者の家族に限定せず、平成22年3月27日～H23.9.25の間、土曜・日曜・休日の小児運賃を無料化。(京福電鉄) 期間限定の「バス・エコファミリー」(大人1人に付き、小学生以下2人まで無料)の実施。(京阪シティバス) PiTaPa機能を搭載したSTACIAカード保有者に対する優遇制度として、「エコ乗り」ルール&バスのサービスを実施。(阪急電鉄) 		<ul style="list-style-type: none"> 環境定期券制度の周知に努める。(阪急バス) ICカードを活用した施策を検討中。(京福電鉄) 	○
30 ○ 観光客の多様なニーズに対応した、交通事業者共通の企画切符の導入及び広報	<ul style="list-style-type: none"> お客さまの利用目的に応じ、既に多種の企画乗車券を設定。(京阪電鉄, 京都バス, 京福電鉄) 「京都観光フリーきっぷ」の発売。(JR西日本, 京阪電鉄, 京都バス) みやこ漫遊チケット, 嵐山1dayチケット等目的地に応じた各種企画乗車券の設定。(京阪電鉄, 京都バス, 京福電鉄) 各種共通フリーバスの発売。(叡山電鉄, 京都バス) チケットセンターやバス車内での販売促進。(京都バス) 「京めぐり」を発売。(近鉄) 目的地に応じた各種企画乗車券の設定(いい古都チケット, 阪急・嵐電1日周遊バス)。(阪急電鉄) 「北急・モノレール 京都おでかけきっぷ」を新たに設定。(阪急電鉄) 京都観光一日乗車券【山科・醍醐拡大版】発売。(交通局, 京阪バス) 修学旅行生を対象とした優待つき観光一日乗車券「京都修学旅行1dayチケット」発売。(交通局) 市内バス会社8社局での共通回数券に参画し、チケットセンター・バス車内で販売促進。(JRバス) 自社独自では高雄エリアに向けた観光客の利便を図るため「高雄フリーきっぷ」を設定。(JRバス) 鉄道事業者と連携し、京都観光一日乗車券を組み込んだ企画乗車券等を発売(交通局) 		<ul style="list-style-type: none"> フリーバスによる定期観光バス優待乗車。(京阪バス) バスニーズのシームレスな取り組みを企画し、既存企画券の使い勝手向上を検討。(京都バス) 「鞍馬・祇園1dayチケット(近鉄版)」を発売(平成23年4月29日～)。(近鉄) 「鞍馬・祇園1dayチケット」の発売範囲拡大。(叡山電車) 京都市内から比叡山への観光需要喚起のための企画乗車券を発売。平成23年4月18日～12月5日(交通局・京都バス・京阪バス・京福電鉄) 	○
31 ○ 共通運賃や乗継制度, ICカードの活用	<ul style="list-style-type: none"> 京都市域共通回数券やスルッとKANSAIカードにより共通化を図る。(京都バス, 交通局) トリアフィカ京カードで乗継割引を実施。(交通局) ICOCA連絡定期券の発売(JR西日本, 京阪電鉄) PiTaPaでの登録型割引、利用額割引の実施による割引制度の充実(京阪バス) 	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年3月に京阪バスがICカードシステムを導入。(京阪バス)(H22年度市補助:3,452千円) 	<ul style="list-style-type: none"> 通勤・通学利用のお客様に対しても利便性向上を図るよう検討する。(交通局) 乗継割引の拡充を図る。(交通局) 洛西WGでの共通乗車に向けて、対応できるよう諸問題を解決しICカードを採用(ヤサカバス) 平成23年4月に嵐電にICカードシステムを導入。登録型サービスにより、通勤・通学利用の利便性向上を図る。(京福電鉄) 	○

施策名	実施内容			進捗状況 ○：推進中 △：企画構想段階
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降の予定	
32 ○【京都市内共通乗車券】 京都市内の鉄道・バス事業者が連携し、地区内の公共交通を共通に利用することができる企画切符の導入 当面のターゲットは観光客とし、付加価値(商業施設・観光施設・飲食施設等での割引特典など)をつけて販売		・電車・バスでまわる「歩くまち・京都」京都フリーパスの発売	・販路拡大、利用範囲、発売期間拡大。 ・子ども料金の設定等の検討。	○
オ バリアフリー化の推進				
33 ○ 旅客施設及び周辺の道路等のバリアフリー化を重点的・一体的に推進	<ul style="list-style-type: none"> ・乗換利便性を向上させたバリアフリーの基本構想を策定(JR西日本) ・京都市交通バリアフリー基本構想にて位置づけられた駅のバリアフリー事業を完了。(阪急電鉄) ・駅にEV等バリアフリー設備を新設。(JR西日本、阪急電鉄、京阪電鉄) ・「京都市交通バリアフリー全体構想」で重点地区に位置付けられた駅での改善に取り組み、地下鉄に係る地区のバリアフリー事業を完了。(交通局) ・京都市内の各駅でバリアフリー化を積極的に進めており、駅構内でのエレベーターを全駅で設置済み。(近鉄) ・嵐山本線・北野線の乗り継ぎ駅である帷子ノ辻駅のバリアフリー化を実施。(京福電鉄) 		<ul style="list-style-type: none"> ・駅エレベーター設置、多目的トイレ設置等を計画。(JR西日本、京阪電鉄) ・バリアフリー対応の低床式バスを導入、体の不自由な方や高齢者等の利便性の向上。(京阪シティバス) ・新京都市交通バリアフリー全体構想を策定し、新たにバリアフリー化を行う箇所を抽出。 ・H23年度に烏丸御池駅の一般旅客用トイレを全面改修し、出入口部分の段差解消や洋式便器の設置を行う。(交通局) 	○
カ 効果的な情報提供策				
(ア)体系的な情報提供の構築				
34 ○ 情報提供のガイドライン作成(路線図・時刻表等の紙媒体、WEB、バス停等の案内板など)	<ul style="list-style-type: none"> ・駅名のナンバリング表示。(京福電鉄、叡山電鉄) ・河原町駅、烏丸駅、西院駅、桂駅で4ヶ国語表記を実施済み。(阪急電鉄) ・駅名看板の英語・中国語・ハングル表示。(京阪電鉄、叡山電鉄) ・京都市交通局との相互直通運転区間について自社HP内で検索対応にしている。(近鉄) ・HPで他社線との交通ネットワークの案内。(叡山電鉄、京阪電鉄) ・HP、携帯電話、駅PDP、発車標等を活用した情報発信の継続推進。(JR西日本) ・配布物やホームページ上での色弱対策を実施。(交通局) ・サインマニュアルに基づいた案内サインの整備。(JR西日本) ・平成21年9月から、携帯サイトを利用したバス時刻表の閲覧が全停留所で可能。(ヤサカバス) ・時刻表の色弱対策の実施(2010年春の京都線ダイヤ改正時)。(阪急電鉄) ・京都駅バスターミナルにおける路線図・時刻表とあわせた沿線観光情報の提供。訪日観光客への対応としてのりばの4ヶ国語表記。(JRバス) ・ホームページ上での時刻表、沿線観光情報の提供(JRバス) 	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻表の色弱対策の実施(平成22年春の京都線ダイヤ改正時)。(阪急電鉄) ・市バス観光系統「洛バス」車内の案内表示について、英語・中国語・韓国語表記を導入(交通局) 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語での車内放送開始。(叡山電車) 	○
35 ○ 観光案内所や市バス案内所等における公共交通に関する情報等の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・京都駅改札において観光案内物等配布。(近鉄) ・JR嵯峨嵐山駅前に観光案内所を新設。(嵯峨野鉄道) 			○
36 ○ バス停等における主要目的地までの所要時間案内の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・観光利用のお客様への情報提供として、起点となる京都駅では主要観光地への最寄のバス停や所要時間等を示した案内看板を設置し、お客様目線を意識した案内サービスを実施。(JRバス) 			○

施策名	実施内容			進捗状況 ○：推進中 △：企画構想段階
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降の予定	
37 ○ シンポジウムの開催や公共交通利用促進キャンペーンの実施	<ul style="list-style-type: none"> 「鉄道は地球環境に優しい乗り物」であることを、共通ロゴマークの掲載により訴求。(JR西日本) 鉄道を最大限に活用した観光地へのアクセスの積極的な案内(ポスター、リーフレット、案内看板等)。(JR西日本) マスコミへの働きかけ、「公共交通機関でおこしやす・京都市協議会」への協力。(JR西日本) 公共交通機関の利用を奨励する宣伝物を制作。(JR西日本) 「公共交通機関でおこしやす・京都市協議会」に参加している。(近鉄) 京都市主導の東山交通対策研究会に参画し、各種施策に積極的に取り組んでいる。(京阪電鉄) 鉄道の環境PRポスターの車内掲載。(阪急電鉄) カーボン・ニュートラル・トレイン 摂津市駅号の運行(平成22年3月～平成22年7月)。(阪急電鉄) 将来の利用者であるこどもの運賃を1年間、土日祝日を無料とする実験を実施中。(平成22年3月～平成23年3月)(京福電鉄) 他府県のターミナル駅において京都観光のリーフレット等の配布会を開催(交通局) 	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年8月大阪方面から京都・嵐山方面への観光誘致を目的とし、大阪モノレールと共同で、モノレール車体に阪急電車の外観をイメージした「ラッピング列車」の運行、PRを開始(阪急電鉄) 平成23年3月19日に、京都への観光客の誘致を目的とした「和・モダン」をコンセプトに京都の町家をイメージしたリニューアル電車「京とれいん」の運行を開始。(阪急電鉄) 	<ul style="list-style-type: none"> 交通媒体以外のマス媒体活用。(京都バス) 洛西地域におけるふれあいまつりにおいて、洛西地域の公共交通利便性向上に関する取組の周知。 「おかげさまで30周年 京都地下鉄まつり」の開催と『地下鉄の日』限定こどもフリーチケットのプレゼントについて(交通局) 他社局のターミナル駅で京都観光リーフレット配布会を開催(交通局) 	○
(イ) 市民向け情報提供				
38 ○ 地域別の公共交通マップの作成及びモビリティ・マネジメントの実施	<ul style="list-style-type: none"> 太秦・南太秦学区における「おでかけマップ」(MM実施)沿線在住者向けにご利用案内を掲載したパンフレットの各戸配布。(京福電鉄、交通局) MMにおいて、事業所に配布する資料にみどりの窓口の開設時間を記載。(JR西日本) 府内他地域においては、MMの取り組みに関し、時刻情報の提供等の協力を行っている。(近鉄) 「スローライフ京都」プロジェクトで実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 洛西地域における公共交通利便性向上の情報提供など、市民しんぶん区版(平成22年4月15日号)を活用したMMの実施。(交通局、京阪京都交通、阪急バス、ヤサカバス) 市民しんぶん区版(平成22年12月15日号)における全市民を対象としたMMの実施と公共交通マップの配布。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民しんぶんを活用した「歩くまち・京都ー公共交通マップ地域版」の配布。 「スローライフ京都」プロジェクト(モビリティ・マネジメントの推進)を実施。 	○
(ウ) 観光客向け情報提供				
39 ○ 観光地間周遊に便利な、鉄道・バスでの効率的なルートの案内情報の充実	<ul style="list-style-type: none"> 観光シーズンに、地下鉄とバス・鉄道を使った観光地へのルートをお知らせしやすく案内する「地下鉄沿線観光マップ」を配布。(交通局) 臨時直通列車を運行時、HP、リーフレット、車内吊りポスター、新聞折込などによる案内を実施。(阪急電鉄) 観光地周辺での案内活動に参加。(京阪電鉄) 駅での乗換案内マップの設置(目的地・乗換駅・標準所要時間・バス系統等の案内)。(京福電鉄) 定期観光バスでは、ニーズに対応できるように多彩なコースを設定。(京阪バス) バスナビ、路線図、洛ナビなどのサービスを提供しているほか、多客時には、洛バス・地下鉄を活用した観光地巡りのちらしなどを作成、配布して案内しているその他、交通局ホームページにおいても観光情報マップを提供。(交通局) 当社HPでエリア別の観光案内を掲載している。(近鉄) 東京から伏見方面への観光に便利なHP案内を行っている。(近鉄) 高雄・梅ノ尾等に向けた公共交通利用促進の一環として、鉄道との乗継箇所となる円町駅等での乗換案内をスムーズに行うべく、鉄道と連携のもと駅でのポスター掲示やパンフレット等による情報発信に取り組んでいる。(JRバス) JR嵯峨嵐山駅前に観光案内所を新設し、情報提供に努めている。(嵯峨野鉄道) 市営駐車場で、公共交通でまわる京都観光マップや動機付け情報を配布。 英語版、中国語版、ハングル版の定期観光バスパンフレットの作成、webでのデジタルパンフレットにも対応(京阪バス) 	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年3月25日から、社内案内表示及び社内案内放送にて、停車停留所名を2カ国(日本語、英語)から4カ国(日本語、英語、中国語、韓国語)の表示へ多言語化。(交通局) 平成23年3月25日から、四條烏丸(西行)停留所の「バス接近表示器(バスロケーションシステム)」をLCD(液晶ディスプレイ)タイプに変更し、対応言語を4カ国(日本語、英語、中国語、韓国語)へ拡大。(交通局) 京都への観光客の誘致を目的とした「和・モダン」をコンセプトに京都の町家をイメージしたリニューアル電車「京とれいん」の運行を開始(平成23年3月19日)し、車内放送や車内で設置の観光案内パンフレットについても四ヶ国語対応を実施(阪急電鉄) 	<ul style="list-style-type: none"> 定期観光バスの案内情報の充実。(京阪バス) 定期観光バスでのGPSを活用した車内外国語案内システムの導入(日、英、中、韓)(京阪バス) 嵐山周辺のマップを作成し、案内所に常設。(嵯峨野観光鉄道) 	○

施策名	実施内容			進捗状況 ○：推進中 △：企画構想段階
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降の予定	
40 ○ 歩いて楽しい観光コースにおける公共交通の案内情報の充実(ガイドブックの作成等)	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じた観光案内冊子の作成・配布(嵐山和の香り紀行, 京都ゆかた割, 龍馬と京をゆく等)。(阪急電鉄) ・フリーペーパーや駅周辺の観光ガイドマップを発行し各駅に設置。(京阪電鉄, 京福電鉄) ・中間駅への写真入り周辺案内表示板の設置。(京福電鉄) ・主要駅に英語・中国語・ハングル表示の写真入り周辺案内表示板の設置。(叡山電鉄) ・観光パンフレットに, 目的地までの当該路線のアクセス情報を記載。(JRバス) ・主要観光地(大原・嵐山嵯峨野)掲載のイラストマップを配布している。(京都バス) ・ハイキングイベント企画。(近鉄, 叡山電鉄) ・市内催物の入場券を駅で発売・PR。(近鉄) ・花の名所の開花状況をPR。(近鉄) ・駅周辺の観光ガイドマップを発行し各駅に設置。(京阪電鉄, 叡山電鉄) ・沿線を3分割し, エリアマップとして駅及びインフォメーション等に常設。(京福電鉄) ・英語版, 中国語版, ハングル版の定期観光バスパンフレットの作成, webでのデジタルパンフレットにも対応(京阪バス) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年10月に五条坂陶板の道(陶板による案内表示)完成。(京阪電鉄) 		○
41 ○ 観光地周辺の観光案内標識など, 駅やバス停への誘導案内の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停でのビジットジャパンの取組による周辺観光地情報の掲出や, 地下鉄駅での周辺地図の掲出を実施しているほか, 携帯電話による洛ナビ・ポケロケの情報を提供しており, 洛ナビではGPS機能に対応するなど, 情報提供の充実に取り組んでいる。(交通局) ・駅から散策ecoマップや, 京都eco旅マップの制作, 積極的な配布。(JR西日本) ・各種宣伝物(TV番組, 情報誌等)も活用した積極的な案内。(JR西日本) ・京都市観光協会と連携し, 京の冬の旅でも公共交通機関を積極的に案内。(JR西日本) ・公共交通機関でおこしやす・京都市協議会への協力。(JR西日本) ・観光地周辺での案内活動に参加。(京阪電鉄) ・当社HPでエリア別の観光案内を掲載している。(近鉄) ・東京から伏見方面への観光に便利なHP案内を行っている。(近鉄) ・公共交通利用促進に向けた事前広報・PRの実施。駅施設への案内誘導看板の恒常設置。(阪急電鉄) ・嵐山駅リニューアルにともなう, 観光案内情報の充実。(阪急電鉄) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年3月26日に, 一条戻り橋のバス停の名称を, 観光客にも分かりやすい名称(一条戻橋・晴明神社前)へ変更。(交通局) 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路標識, 住居表示等既存の地理ツール活用。(京都バス) 	○
42 ○ 観光案内ボランティアガイドとの連携による, 観光客の公共交通利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・エリアマップや洛ナビ, ポケロケなどにより, 徒歩と公共交通を組み合わせた観光ができるよう取組実施。(交通局) ・フリーペーパーの制作, 積極的な配布, 各種宣伝物(TV番組, 情報誌等)を積極的に活用し, タイムリーな観光情報の掲載。(JR西日本) ・京の魅力探訪ウォークの実施, ・ハイキングの設定と告知, 観光地へのアクセス案内における, 鉄道+徒歩の優先的な案内。(JR西日本) ・京都市観光協会と連携し公共交通機関を積極的に案内。(JR西日本) ・公共交通機関でおこしやす・京都市協議会への協力, 「京都観光フリーきっぷ」の設定, 「京の魅力探訪ウォーク」の開催。(JR西日本) ・鉄道を活用した観光地へのアクセスを積極的に案内。(JR西日本) ・観光地における最寄り駅への案内誘導。(京阪電鉄) ・春秋のおもてなしキャンペーンによる案内・警戒を引き続き取り組むとともに, エリアマップなどの配布物により, 観光に来られたお客様に市バス・地下鉄の利用促進を図る。(交通局) ・臨時観光案内所を開設し, 改札内というロケーションを活かし, 鉄道を活用した観光地へのアクセスを積極的に案内。 			○

施策名	実施内容			進捗状況 ○：推進中 △：企画構想段階
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降の予定	
(エ) インターネットでの情報提供				
43 ○ 既存の交通検索ソフトやウェブサイト、市内のバスダイヤの情報を提供	<ul style="list-style-type: none"> すでに京都まちづくり交通研究所で取組が行われており、市バス・地下鉄のダイヤ情報を提供しているダイヤ改正時には速やかに修正情報の提供を行う。(交通局) 「駅探」で実施している。(京阪バス) 自社ホームページ以外に「駅すばあと」「乗換案内」で情報を提供(ヤサカバス) 自社サイト(パソコン・携帯端末)のほか、主要なコンテンツプロバイダ4社で既実施。(京阪バス) 定期観光バス案内サイトの多言語対応(日、英、中、韓)(京阪バス) 	<ul style="list-style-type: none"> 「駅探」「ナビタイム」で実施している。(京阪バス、交通局)(交通局はH22に駅探、H23にナビタイムで実施) 	<ul style="list-style-type: none"> 国における「インターネットを利用したバス乗継案内情報の提供推進連絡会」における取組。 自社サイト(パソコン・携帯端末)、コンテンツプロバイダ等へのバス位置情報を含めた時刻、系統情報の提供(インターネットを主としたGPSバスロケーションシステム導入)について検討(京阪バス) 	○
44 ○ 京都市全体の公共交通インターネットサイトを構築(各事業者の提供するホームページリンク)				△
キ 観光地交通対策				
45 ○ 京都市周辺地域でのパークアンドライドの通年実施	<ul style="list-style-type: none"> 市内においてマイカーから公共交通機関への転換が図れることから、地下鉄駅への掲出、ちらしの配布など周知、案内に協力。(交通局) 駅周辺で実施されるパークアンドライドへの案内面での協力。(JR西日本) 地下鉄駅において、パークアンドライドのポスター掲示やチラシ配布。(交通局) 公共駐車場・駅前社有地を活用したパークアンドライドを通年、または時期・状況に応じて実施。(京阪電鉄) 	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年10月から、PiTaPaを活用した「パーク&ライドサービス」の実施(交通局) 	<ul style="list-style-type: none"> 新駅整備に伴い、西方面から京都市内へ流入する自動車交通量を削減するためのパークアンドライド駐車場の整備について検討。(阪急電鉄) 近鉄沿線エリア各駅での対応を検討。(近鉄) 	○
46 ○ 宅配機能付きのコインロッカーや宿泊施設と連携したキャリーサービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> 京都駅における荷物一時預かりおよびキャリーサービスの実施。(JR西日本) レンタサイクル事務所で荷物一時預かりを実施。(嵯峨野鉄道) 			○
47 ○ 鉄道駅を拠点としたレンタサイクルやカーシェアリングの普及	<ul style="list-style-type: none"> 他地域ではレンタサイクル事業を実施している。(近鉄) 三条駅において観光型レンタサイクルを実施(京阪電鉄) 	<ul style="list-style-type: none"> 駅においてレンタサイクルを展開中。(平成22年度:西院駅増設)(阪急電鉄) 他社(オリックスレンタカー)と連携し、駅周辺の土地を活用・提供したカーシェアリング事業を展開。(平成22年度:西院駅設置)(阪急電鉄) 	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年秋ごろ嵐山駅前レンタサイクルリニューアル予定(建設中の嵐山駅前のホテル開業と同時期に)(阪急電鉄) 	○
48 ○ 駅やバス停及びその周辺でサイクルアンドライドの推進	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄3駅において駐輪場を運営しており、平成20年にはくいな橋駅駐輪場を有料化して、利用しやすく良好な駅前環境に改善した。(交通局) 駅において駐輪場を運営。(交通局、阪急電鉄、京阪電鉄、京福電鉄) 一部駐輪場では定期券を所持している方を対象に駐輪場利用料金を割り引くサービス。(叡山電鉄) 嵐山駅に駐輪場を整備(H22年3月～供用)(京福電鉄) 	<ul style="list-style-type: none"> 七条駅、東福寺駅での駐輪場整備。(平成22年度末)(京阪電鉄) 七条駅、東福寺駅、藤森駅での駐輪場整備。三条駅での駐輪場増設。(平成22年度)(京阪電鉄) 松尾駅前京都市・阪急電鉄双方の土地提供による市営駐輪場オープン。(平成22年7月)(阪急電鉄) 西院駐輪場増設(阪急電鉄) 		○
ク 公共交通不便地域のあり方				
49 ○ 中山間地域における現行のバス路線については、地域の実情(需要)も勘案しつつ、地域の活性化や福祉の視点も踏まえ、持続的な運行維持方策について、地域住民や交通事業者、行政機関等が参画した検討の場を設置	<ul style="list-style-type: none"> 雲ヶ畑自治振興会と協議・調整を図り、雲ヶ畑線のダイヤ変更を実施。(京都バス) 周山地域において、ご利用ニーズにあわせたダイヤ設定(H22:ウッディー京北停留所新設)、地元と連携した周山バスターミナルでの対面の乗車券販売・案内サービス。(JRバス) 公共交通不便地域のあり方検討ワーキンググループの開催。 雲ヶ畑地域における公共交通のあり方検討会議の開催。 		<ul style="list-style-type: none"> 公共交通不便地域のあり方検討WGにおいて、公共交通不便地域の生活交通のあり方について検討。 	○
50 ○ 地域住民の皆様が生活交通の維持に対する意識を高めて頂くような仕組みづくり		<ul style="list-style-type: none"> 「雲ヶ畑地域の生活交通を維持するためのアンケート調査」の実施。 雲ヶ畑地域におけるワークショップの開催。 	<ul style="list-style-type: none"> 雲ヶ畑地域における具体的事例を検討。 	○